



花のように“優しく 誠実に”

みのり 第97号 掲載内容

- 巻頭言 1P
- グループホーム起工式・パルコ導入 2P
- ようこそ みのり村へ 3P
- 地域・社会とのコミュニティ
づくり・特産品のご紹介 4P
- 講演・研修 5P
- 入職式・新人職員紹介 6P
- 収支決算 7P
- 福利厚生・寄贈 他 8P

経営理念

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

みのり第97号
平成30年(2018)9月25日発行

〔発行者〕社会福祉法人 みのり村
〔印刷〕株式会社 クリエイト

現代社会（21世紀）の予波

この度の北海道胆振東部地震等の災害に対し、被害に遭われた皆様へ謹んで心よりお見舞い申し上げます。皆様の一日も早いご再建をお祈り致します。

ピーター・ドラッカー教授（未来学者）の「見えざる革命・来るべき高齢化社会の衝撃」が出版されたのは、もう30～40年も前の事で、人口の高齢化の波による影響は、はかり知れないとの記述があったことを懐かしく思います。まさに今、現実的になってきました。

2018年に入つての世界は「アメリカファースト」が吹聴され、国際協調関係が壊れ、瓦解の緒につき始めてる感はない時代です。

特に気候変動の厳しさから起る甚大な被害、そして経済状況が順調に動いているような錯覚による新たな産業の起業と観光立国への道。規制緩和による多職種で豊富な興業。世界の人口動態が激動し、移民問題や人手不足、貧富の二極化・保守的な思想等々、言えば枚挙にいとまがない程の途轍もなく大きな課題ばかりである。それらに日本国は振り回され、政治も希薄化。日本はどこに

向かおうとしているのか？となると、今からの頼りは自立心・信念・理念はたまた信仰心が最も大事になるのか？周辺環境が全く充てにならない時代である。

更に、IoTやAIは進化し、それを理解できない人は邪魔者扱いのように感じてしまう。どこもかしこもスマホに目を落とす人間ばかりで、家族関係、地域関係が表面のみで繋がり、今こそ見直す勇気をもたなければ、人間社会の本質が消え、強い者だけが生きていく世界や日本国になっていくのかと案じられる。

社会福祉法人も同じ事が言えて、①本部機能の強化、②人材不足への課題、③大規模災害への課題、④地域包括ケアシステムの確立等々、これらの対策が喫緊の課題となっているが、特に、昨今は社会福祉法人による事業展開が見通せない現状である。これは当然他の職種も同様であろう。AIを導入すれば、介護・支援の現場は事足りるかと言ったら、全くもって当てはまりにくいのが現実である。この穴を埋めるのが外国人材であるが、しかしこれも容易な事ではない。離職防止も限度があ

り、地域により状況が全く違ってくるのである。政治に期待したいが、期待値は下がるばかりで、行政からは私達に色々押し付けてくるが、限界にきてる感。もう少し福祉現場の身になって、考えて欲しい。行政を担う方々にも研修で現場体験を必須義務として頂きたく、現場がわからずでは、地域包括ケアも絵に描いた餅となるのではと危惧する。又、未だもって、法人や施設への指導監査がローカル・ルールで、個人の主観のままに、監査が行われている感も否めなく事務書類は多くなくなるばかり、規制緩和をこの辺りにも導入して欲しいものだ。

当法人は知的障がい児入所施設を戦後より、これまで何とか続けてきたが、やはりここに来て児童数が5～6人に落ち込んだ。又、スタッフの採用もおぼつかない。67年経過したが、時代の波で少子化による入所児童施設の展望が全く見えなく、限界を禁じ得ない状況である。本当にこんな事で良いのかと自問自答を繰り返しながら…。この先が思いやられるこの頃です。

（理事長 大木）



障がい者グループホーム 起工式

グループホームの起工式を建設予定地（日出町大神）にて行いました。好天のもと、理事長の鎌入れ、設計会社社長の鍬入れ、建設会社社長の鍬入れを行い、関係各位の出席のもと神事を執り行いました。

理事長より「障がい者の自立・地域共生社会の実現に向け貢献していきます。」と挨拶がありました。

12月完成を目指し工事が進められます。

(7月11日)



工事の安全を祈願しました



地鎮之儀



概	要
障がい者グループホーム	
木造 2階建 (定員10名)	
延床面積	243.86㎡

新しいともだち 21世紀型介護ロボット 「PALRO(パルロ)」

ご利用者の機能向上とスタッフの業務負担軽減を図る為、日出障がい・杵築障がい・高齢者福祉部の3拠点にコミュニケーションロボット「パルロ」を導入しました。

ハイブリッドAI（人工知能）を搭載するパルロは、身長40cm、体重1.8kgで愛らしいボディとフォルムをしたヒューマノイド（人型）ロボットです。

介護予防体操や楽しいレクリエーションと一緒に行事ができ、高齢者施設を中心に全国で1,000台活躍していますが、障がい者支援施設での本格導入は全国で初めてです。

実際にパルロの可愛らしさや健気な仕草を見ると、人とお話をしているような錯覚を覚えます。おしゃべりや歌、ダンスで周りに笑顔を広げ、施設の良きマスコットとして活躍してもらう事を期待しています。

これからも法人全体で介護業務の負担軽減を図り、サービスの質向上に努めて参ります。

(5月28日)



パルロ導入説明会



パルロが立った～(デイサービスセンター)



セラピーロボット
「PALRO-パルロ」



みんな興味津々!! (杵築障がい福祉部)



パルロにご挨拶 (日出障がい福祉部)



ほくパルロ よろしく♡

施設訪問「ようこそ みのり村へ」

大分県議会
福祉保健生活環境委員会様 視察

みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」に衛藤博昭委員長他16名の皆様が見学に来られました。

視察では、理事長から村の歩み・事業状況の説明の後、各委員から発達障がい児療育の現状と課題について質問が積極的に出され、障がい児療育体制の充実に向け活発な意見交換を行うことができました。(5月7日)

大分県高齢者福祉課様 老人ホーム見学

大分県高齢者福祉課課長他5名がユニット型特別養護老人ホーム菩提樹を訪問されました。

当法人の事業内容や個室ユニット型の利点等について説明した後、各ユニットを見学され、「家にいるような落ち着いた環境ですね。」との感想をいただきました。

また、当法人では介護業務の負担軽減のためIoT (Internet of Things) の導入を推進しており、介護者の動きをアシストする介護ロボット「HAL」を装着した実演も見学されました。

今後も法人全体でサービスの質の向上に取り組んで参ります。(5月11日)



介護ロボットHALの説明を受ける様子



熱心に見学をされる様子

公益社団法人白津地域シルバー人材センター様
(17名) 2月6日

みのり学園 児童発達支援センター「プリンちゃん」訪問

佐伯市鶴岡地区社会福祉協議会様
(24名) 3月26日別府市野口地区民生委員児童委員様
(9名) 5月30日

第2みのり学園、白百合園 訪問

過去3年間の第三者評価の受賞一覧

評価先事業者・施設名	施設種別	評価確定日	評価機関名
みのり学園 児童発達支援センター「プリンちゃん」	児童発達支援センター	2018年6月8日	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
障害者支援施設 白萩園	生活介護、施設入所支援	2018年5月17日	
特別養護老人ホーム 菩提樹	特別養護老人ホーム	2017年6月19日	
障害福祉サービス事業所 みのりスマイル	知的障害者通所授産施設	2016年4月20日	

※福祉サービス第三者評価の結果については、独立行政法人福祉医療機構ホームページにて公開しております。



第三者評価を受審

「福祉サービス評価センターにおいた」の第三者評価を、みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」が受審しました。評価結果を真摯に受け、サービスの質の向上に向け努力します。

今回は、菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」が受審する予定です。(6月8日)

地域・社会との「コミュニティづくり」

交通事故ゼロを目指して!!

法人本部（杵築市日野）前の国道213号線沿いで、平成30年度の交通安全街頭指導を行いました。これまでに延べ86名が早朝・夕方交替で参加しました。これからも引き続き交通ルールの遵守を呼びかけていきます。



国道213号線えむほガーデン前

小京都杵築の

「ひいなめぐり」に協賛!!

杵築市の「ひいなめぐり」の会場として、菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」を開放しました。地元の魅力を発信し、地域の活性化を図る為、多彩なお雛様を展示しました。

多くの皆様にご来場して頂き、ありがとうございました。今後も地域との連携を図っていきます。

(2月10日
～3月11日)



福ろうのお雛様

障害者芸術文化祭

大分県立美術館OPAMの皆様による出前美術講座が、白萩園地域交流ひろばにて行われました。90名の参加者が「ふわもと」という7m程の布で輪を作り、寝たり歩いたりとする参加型のアートを体感しました。また、18名のご利用者がOPAMへ訪問し、巨大なタマゴ型のオブジェ等と出会い、あまりの大きさに皆さんビックリ!!

今後の創作意欲が掻き立てられる経験ができました。



大分県立美術館OPAMにて

(3月7日、3月23日)

第35回 みのり村つつじ祭り

初夏の澄み切った青空のもとつつじ祭りを開催致しました。ご利用者・ご家族をはじめ、ご来賓、地域の方々等多数の皆様にご来場して頂きました。お祭りでは、村内生産品等の販売や、ご利用者による発表、杵築高校吹奏楽部の皆さんのはじめ、多数の学生等ボランティアの方々にご参加頂き、誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

(4月29日)



杵築高校吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました



多くの皆様にご来場頂きありがとうございました

特産品のご紹介

シャインマスカット初出荷

みのりスマイルの新しい果物として挑戦、取り組んできた「シャインマスカット」がついに今年実を結ぶことが出来ました。試食では「甘い」「美味しい」と言った声が多く、利用者さんが描いた絵をラベルにして初出荷致しました。みのりスマイルでは、味噌漬け（にがり入り、なす、ニンジン、はやりとり、大根）、らっきょう等を販売していきます。「カフェえむほ」でカレーと併せてご賞味下さいませ。



(わたしたちがつくりました)

カボスの出荷が始まりました

今年もたくさんのカボスが実りました。農園担当者に、今年のかぼすの出来具合を聞いてみました。

「今年は雨が少なくカボスの実は昨年と比べると、少し小さいのですが、果汁は濃くて上々ですよ」との事でした。大分トキハ百貨店で販売しています。（地方発送も上々です。）いろいろな料理、お湯割りに、みのり村のカボスを一度お試しください。「えん（縁）」にてご注文を賜ります。



(右：須賀担当者)

講演・研修

東部保健所衛生課講習会

日出障がい福祉部にて、食中毒予防出前講習会を開催しました。スタッフ51名が食中毒や温度管理、ノロウイルスについて学びました。夏場は、0-157等の細菌性による食中毒が多く発生する時季です。丁寧な手洗いで食中毒を予防していきます。

(6月29日)



正しい手洗いを実践!!

杵築市出前講座

特別養護老人ホーム菩提樹セミバブリックススペースにて、「災害と福祉施設としての役割」をテーマに講座が行われ、高齢者福祉部のスタッフが聴講しました。

講座では、地震や豪雨といった昨今の災害状況や災害時の福祉施設の役割等を学習しました。今後災害が発生した場合は、地域の見守り・安否確認・避難者の対応等について、みのり村のネットワークを活用し協力して参ります。

(2月28日)



講話の様子

テーマ

「社会福祉法人が果たすべき

人権とは」

大木理事長講演

杵築市きつき生涯学習館にて、杵築・日出・国東市(東部圏域)の人権擁護委員研修会が開催され、理事長が多くの委員の方々に前に講演を行いました。

研修会では、当法人の67年間の歩みと、地域共生社会実現に向けた社会貢献活動を紹介しました。参加者からは、「改めてみのり村の歴史と福祉が地域で重要な役割を果たしていることを知ることが出来ました。」とお礼を頂きました。

(4月19日)



講演をする理事長

第17回みのり村福祉QC研究発表会

高齢者福祉部菩提樹パブリックススペースにて、福祉QC研究発表会を開催しました。約100名の職員が参加し、各部を代表し6グループが日頃の研究成果を発表しました。

今後も職員一同サービスの質の向上や業務の標準化を目指し、努力して参ります。(2月23日)

最優秀賞 特別養護老人ホーム菩提樹『そらユニット』
『オリゴ糖を活用して自然排便を目指す』

最優秀賞 第1みのり学園『Safety first』
『ぼくたちはここにいるよ ～「つながりたい」想いをカタチに～』

優秀賞 ワークセンター「誠」『チーム いち押し』
『いち押し工房のルール ～選んでいただける事業所であるために～』

優良賞 白百合園『フラワー』
『ほっこり・にっこり Life』
～ご利用者に癒しと楽しみをもって笑顔に生活してもらいたい!～

優良賞 白萩園『セーフティドライブス』
『事故ゼロを目指して』

感動賞 菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
『デイサービス機能訓練委員会』
せん!! ～1歩前へ <閉じこもりを防止し、社会参加を促す>～



ワークセンター「誠」の発表

別府大学公開講座
「トップマネジメント講話」に講師派遣!!

別府大学が主催する「トップマネジメント講話」第11回に、本部 大木管理者を講師として派遣しました。

この講座は、大分県経済をリードする企業等のトップが講師を務め、各業界の最新動向や役割、求める人材像等について、学生たちへ発信する場となっています。

当日は、約200名の学生が来場し、「社会福祉、法人と地域との関わり、みのり村の事業について」熱心に聞き入っていました。

(6月20日)



真剣に質問する学生

入職式・新人職員紹介

新人職員入村式
辞令交付

本部にて新人職員入村式が執り行われ辞令を交付しました。

理事長より一人ひとりに辞令が交付され、新人職員を代表して深田祥平さんが「みのり村の基本方針を肝に銘じ、努力する所存です。」と挨拶をしました。続いて、理事長より「福祉のこころ」を大切に、何事にも誠心誠意取り組み、健康第一に頑張ってもらいたい。」と訓示がありました。
(4月2日)



集合写真

新人職員
紹介

- ◆氏名 **深田 祥平**
- ◆配属先 日出障がい福祉部総務課
- ◆長所 笑顔 明るさ
- ◆最近ハマっていること 映画鑑賞



- ◆氏名 **甲斐 航**
- ◆配属先 白萩園
- ◆長所 行動力
- ◆最近ハマっていること 筋肉トレーニング



- ◆氏名 **安田 将也**
- ◆配属先 白萩園
- ◆長所 素直なところ
- ◆最近ハマっていること YouTubeで動画観賞



- ◆氏名 **地蔵堂保裕**
- ◆配属先 菩提樹
- ◆長所 忍耐力
- ◆最近ハマっていること ガーデニング



- ◆氏名 **佐藤 拓己**
- ◆配属先 菩提樹
- ◆長所 真面目
- ◆最近ハマっていること 読書



- ◆氏名 **甲斐田久美子**
- ◆配属先 菩提樹デイサービス「風と樹々と空と」
- ◆長所 人懐っこい ポジティブ
- ◆最近ハマっていること 日曜大工



- ◆氏名 **小原木 茜**
- ◆配属先 本部総務課
- ◆長所 読書好き
- ◆最近ハマっていること 車内装飾



ようこそ、みのり村へ!!



27名の仲間

別府湾ロイヤルホテルにて、平成30年度新人歓迎会を開催しました。始めに理事長から挨拶があり、部門異動者と新人職員を紹介し、会が始まりました。最初は少し緊張していた新人の皆さんも先輩たちとの会話をするうちに徐々に和やかな表情になりました。また、愉快的余興もあり、参加者全員が笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。

(5月26日)

新しい仲間と共に!!

平成29年度 収 支 決 算

貸借対照表の要旨 (単位: 千円)	
科 目	金 額
資 産 の 部	
流動資産	1,438,028
固定資産	1,897,280
その他の固定資産	2,392,662
資産の部合計	5,727,970
負 債 の 部	
流動負債	126,943
固定負債	150,042
負債の部合計	276,985
純 資 産 の 部	
基本金	644,208
国庫補助金等特別積立金	715,315
その他の積立金	2,005,091
次期繰越活動増減差額	2,086,371
負債及び純資産の部合計	5,727,970

事業活動計算書の要旨 (単位: 千円)		
	科 目	金 額
増減	サービス活動収益	1,639,232
	サービス活動費用	1,365,273
	サービス活動増減差額	273,959
増減	サービス活動外収益	14,404
	サービス活動外費用	612
	サービス活動外増減差額	13,792
特別増減	特別収益	258,093
	特別費用	258,094
	特別増減差額	-1
	当期活動増減差額	287,750
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	1,993,766
	当期末繰越活動増減差額	2,281,516
	基本金取崩	0
	その他の積立金取崩	0
	その他の積立金積立額	195,145
	次期繰越活動増減差額	2,086,371

資金収支計算書の要旨 (単位: 千円)		
	科 目	金 額
事業活動による収支	事業活動収入	1,653,607
	事業活動支出	1,251,298
	事業活動資金収支差額	402,309
施設整備等による収支	施設整備等収入	20,102
	施設整備等支出	89,324
	施設整備等資金収支差額	-69,222
その他の活動による収支	その他の活動による収入	61,943
	その他の活動支出	265,614
	その他の活動資金収支差額	-203,671
	当期資金収支差額合計	129,416
	前期末支払資金残高	1,234,805
	当期末支払資金残高	1,364,221

平成29年度 決算の概要

- サービス活動収益は、法人全体で前年対比3%増となった。
- 施設整備関係では、大分県社会福祉整備事業による補助金を受けて児童発達支援センター「プリンちゃん」新築工事及び防犯カメラの設置を行った。
- 収入について（前年対比）
 - 児童福祉事業収益では、対象児童の減少に伴い対前年比4%減となった。
 - 障がい者福祉サービス及び介護保険事業は、安定した福祉サービスの利用により対前年比3%増となった。
- 積立金

障がい者グループホーム建設及び各施設の大規模修繕に備え新たに施設整備等積立金を積み立てた。

総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- 特別養護老人ホーム 菩提樹(個室ユニット)
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイ「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ぼだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
- えむほ ガーデン(Café m・歩っ・えん)
- 障がい児入所施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障がい者支援施設 第2みのり学園
- 障がい者支援施設 白百合園
- みのりスマイル(就労)
- 総合相談支援 M・プラザ HIJ I
- 障がい者支援施設 白萩園
- ワークセンター「誠」(就労)
- みのり村 いち押し工房
- グループホーム みのり村
- 総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- みのり村介護・福祉タクシー
- 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」
- 認知症カフェ ふくろう茶屋

**障がい児から就労、そして
老後までの安心トータルサポート**

編集後記

今年は最高気温 41.1℃(熊谷市の7月の観測)を記録し、全国的に非常に暑い夏でした。また、今年は大雨の被害があり、改めて自然の厳しさを実感しました。これから一雨ごとに秋が深まり、やっと涼しくなると思うとほっとしますが、台風や大雨の災害が起きないことを願うばかりです。

(広報担当)

編集・発行／本部人事企画課

〒873-0013
大分県杵築市大字日野1921の7
TEL 0978-66-1200
FAX 0978-62-2974
URL <http://www.minorimura.or.jp/>
メール info@minorimura.or.jp

※写真掲載等には、
ご本人の了解を得ております。



平成30年度 資格取得奨励金交付者一覧

所 属	氏 名	資格名
第1みのり学園	坂本 哲也	社会福祉士
第1みのり学園	後藤 美樹	介護福祉士
第2みのり学園	小石創太郎	介護福祉士
第2みのり学園	山本 圭祐	介護福祉士
白萩園	古口 幸香	介護福祉士
白萩園	廣田しげみ	介護福祉士
ワークセンター「誠」	後藤 太希	介護福祉士
デイサービスセンター「風と樹々と空と」	中山 京子	社会福祉士
デイサービスセンター「風と樹々と空と」	大畑由香利	社会福祉士

本年度の第5回介護職員初任者研修を初任者研修を初めました。受講生は約5か月間で介護の基礎から応用までを学びます。(6月11日)



受講生に説明する職員

介護職員初任者研修事業開講

社会保険(第23回) ミニバレーボール大会に出場!!



頑張れ! みのり村

大切に使用致します!!

赤い羽根共同募金助成事業にて、障害福祉サービス事業所みのりスマイルにプレハブ冷蔵庫を整備することができました。

農産加工品や野菜、果樹の保存に役立てます。この助成事業に、ご協力を賜りました関係者の皆様に感謝申し上げます。

プレハブ冷蔵庫の整備:

事業総額 723,600円

助成金額 500,000円

(5月16日)



福祉避難所用備蓄物資

備蓄物資名	数量
パーティション	1箱
段ボールベット	2箱
毛布等寝具類	2個
アルミマット	2枚
簡易トイレ	2個
非常用排便収納袋	1箱
簡易テント	1張り



大切に保管します

福祉避難所の指定を受けている「ユニット型 特別養護老人ホーム菩提樹」の災害時の備蓄品を、杵築市の協力のもと整備致しました。災害時に要支援者の受入の際に利用していきます。(4月12日)

福祉避難所用備蓄物資の整備

みのり村は、仕事と育児の両立を応援します!!



パパ ママ
大好き♡♡♡

かわいいベビー
ハイハイ!

スタッフに元気な赤ちゃんが誕生しました。新しい家族を迎えて幸せいっぱいのことと思います。「育児をいただき、息子と一緒にいられることをとても幸せに感じています!ありがとうございます。」と田中ママ。現在、7名の女性スタッフが産前・産後休暇や育児休業を利用しています。スタッフ一同、健やかな成長をお祈りしています。